

デジタルハリウッド大学

2024 年度 一般選抜 A 方式

日本史 [60 分]

【 注 意 事 項 】

1. 試験監督の指示があるまでは、問題冊子は開かないこと。
2. 試験監督から指示があったら、解答用紙に氏名・受験番号を正確に記入し、受験番号マーク欄にも受験番号を正確にマークすること。
3. 試験開始の合図後、この問題冊子を開き、20 ページ(白紙ページ含む)揃っているか確認すること。
4. 乱丁、落丁、印刷不鮮明などがある場合は、手を挙げて試験監督に知らせること。
5. 解答は、すべて別紙の解答用紙の解答欄にマークすること。
6. 試験開始から終了までの間は、試験教室から退出できません。
7. 不正行為を行った場合は、その時点で受験の中止と退室を指示され、同日受験したすべての科目の成績が原則無効となる。
8. 解答用紙は試験終了後、回収される。問題冊子は持ち帰っても良い。

これは2ページ目です。
次のページから問題が始まります。

第1問 次のA～Dの文章を読み、あとの各問いに答えよ。

A 奈良時代、農民の中には富裕になる者と困窮する者とが現れた。農民は班給された口分田を耕作したほか、①乗田や位田などを借りて耕作した。一方、困窮した農民の中には、浮浪・逃亡する者もいた。政府は、税の増収や口分田不足の解消のため、722年に百万町歩の開墾計画を立て、翌年に②三世一身法を、743年に③墾田永年私財法を出した。

問1 下線部①に関して、政府や貴族などが乗田や位田などを地子を取って期限付きで農民に貸すことを何というか。次のうちから選べ。

- (1) 雑徭 (2) 出挙 (3) 義倉 (4) 賃租

問2 下線部②の史料に該当するものを、次のうちから選べ。

- (1) 初めて戸籍・計帳・班田収授の法を造れ。…
(2) 今より以後、…三世一身を論ずること無く、咸^{みなことごと}悉^くに永年取る^{なか}莫^れ。…
(3) 若^もし旧^{ふる}き溝池を遂^おはば、其の一身に給せん。…
(4) 方^{いま}今、天下の苦しむ所は軍事と造作となり。…

問3 下線部③に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) この法令は、長屋王政権のもとで出された。
(2) この法令によって、大寺院や貴族の私有地拡大が進み、初期荘園が生まれた。
(3) この法令に基づいて開墾された田地は不輸租田であった。
(4) 道鏡政権のもと、この法令に定められた開墾面積の制限が撤廃された。

B 平安時代になると、班田収授の励行が困難になったため、801年、(ア)は班田の期間を(イ)1班に改めた。また、政府は国家財政の不足を補うため、823年に大宰府管内に、④879年には畿内に直営田を設け、有力農民を利用した直営方式で収穫物を収公した。

問4 空欄(ア)・(イ)に該当する天皇名・語句の組合せとして最も適切なものを、次のうちから選べ。

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| (1)アー桓武天皇 | イー6年 | (2)アー平城天皇 | イー6年 |
| (3)アー桓武天皇 | イー12年 | (4)アー平城天皇 | イー12年 |

問5 下線部④に関して、この直営田を何というか。次のうちから選べ。

- | | | | |
|-------------|--------|-------|--------|
| (1)官田(元慶官田) | (2)諸司田 | (3)職田 | (4)公営田 |
|-------------|--------|-------|--------|

- C 鎌倉時代には、⑤農業技術の改良によって、農業生産が増大した。また、⑥漁業や手工業の発達は地域と都市の交易を活発化させ、定期市が開かれるようになった。都市には多様な物資が集まり、商業活動も盛んに行われた。そして、⑦中国からの輸入銭が多く流通するようになり、遠隔地間の取引では金銭の輸送が手形で代用され、多くの金融業者が現れた。

問6 下線部⑤に関して、鎌倉時代後期の農業についての記述として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1) 肥料として刈敷が普及し、草木灰も用いられるようになった。
- (2) 農業の先進地帯である畿内では、三毛作が普及していった。
- (3) 鉄製の農具や牛・馬が耕作に利用されるようになった。
- (4) 農業の副業として、灯油の原料となる荳胡麻などが栽培された。

問7 下線部⑥に関して、鎌倉時代後期の商業についての記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 宗教施設である寺社の門前では定期市は開かれなかった。
- (2) 月に6回開かれる六斎市が一般化した。
- (3) 定期市のほか、座と呼ばれる常設の小売店が現れた。
- (4) 『一遍上人絵伝』には、備前国福岡の市の様子が描かれている。

問8 下線部⑦に関して、鎌倉時代後期の経済についての記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 中国からの輸入銭である永楽通宝が多く流通した。
- (2) 荘園の一部では、年貢の銭納が行われるようになった。
- (3) 遠隔地間の取引には、金銭の輸送を手形で代用する撰銭が用いられた。
- (4) 金融機関としては、高利貸業者の間丸(問)が多く現れた。

D 室町時代には商工業が発達し、⑧都市の高利貸業者が富を蓄える一方、借金に苦しむ武士や農民も多くなった。やがて、⑨惣村を基盤に団結した農民や運送業者などは、⑩土一揆をおこして徳政などを要求するようになった。

問9 下線部⑧に関して、室町時代、土一揆の襲撃対象となった高利貸業者を何というか。次のうちから選べ。

- (1)土倉 (2)馬借 (3)車借 (4)振売

問10 下線部⑨に関して、室町時代の惣村についての記述として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1)惣領と呼ばれる村の指導者によって運営された。
(2)入会地を確保し、共同で灌漑用水の管理も行った。
(3)領主から年貢の徴収などを請け負う地下請(村請・百姓請)を行った。
(4)村内の秩序を維持するため、地下検断(自検断)を行った。

問11 下線部⑩に関して、次の史料の記述に該当する土一揆(徳政一揆)を、あとのうちから選べ。

凡そ亡国の^{およ}基^{もとい}、これに過ぐべからず。日本開^{かい}白^{びやく}以来、土民蜂起^こ是れ初めなり。

- (1)嘉吉の徳政一揆(土一揆) (2)播磨の土一揆
(3)享徳の徳政一揆 (4)正長の徳政一揆(土一揆)

第2問 次の略年表について、あとの各問いに答えよ。

1549年	キリスト教が伝来する……………	①
1570年	織田信長が石山本願寺攻めを開始する……………	②
1582年	太閤検地が始まる……………	③
1587年	豊臣秀吉が（ ）違反を理由に島津氏を攻める	
1592年	豊臣秀吉による朝鮮侵略が始まる……………	④
1604年	ポルトガル商人に対する貿易統制が始まる……………	⑤
1613年	禁教令が全国に及ぼされる……………	⑥
1615年	大坂夏の陣がおこる……………	⑦
1631年	奉書船制度が始まる……………	⑧
1680年	徳川綱吉が将軍に就任する……………	⑨
1709年	正徳の政治(正徳の治)が始まる……………	⑩

問12 空欄（ ）に該当する語句を、次のうちから選べ。

- (1) 一国一城令 (2) 惣無事令 (3) 刀狩令 (4) 禁中並公家諸法度

問13 略年表中の①に関連して、南蛮貿易と南蛮文化についての記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 南蛮貿易における主な貿易相手先はオランダであった。
(2) 南蛮貿易では、日本から主に絹織物や刀剣・硫黄などが輸出された。
(3) イエズス会宣教師のヴァリニャーニが、金属製活字による活字印刷術を伝えた。
(4) イエズス会宣教師のルイス=フロイスが、南蛮屏風の画家として活躍した。

問14 略年表中の②に関して、織田信長についての記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 小田原攻めを行い、北条氏を降伏させた。
- (2) 海賊取締令を出して、倭寇などの海賊行為を禁じた。
- (3) 小牧・長久手の戦いで、騎馬隊を中心とする武田勝頼の軍を破った。
- (4) 関所を撤廃し、安土の城下町に楽市令を出して、商業の発達をはかった。

問15 略年表中の③に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 農民が実際に耕作している田畑のみが検地の対象とされた。
- (2) この検地の際、枡の容量が宣旨枡に統一された。
- (3) この検地によって、農民は自分の田畑の所有権を法的に認められた。
- (4) この検地によって、貫高制が確立し、全国の生産力が米の量で換算された。

問16 略年表中の④に関して、豊臣秀吉による朝鮮侵略についての記述として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1) 膨大な戦費と兵力が費やされたため、豊臣政権が衰退する一因となった。
- (2) 講和によって日朝貿易が再開されたが、応永の外寇によって再び中断された。
- (3) 朝鮮から連れて来られた陶工によって、有田焼などの陶磁器の生産が始められた。
- (4) 朝鮮から伝えられた印刷法と木活字を用いて、慶長勅版(版本)が出版された。

問17 略年表中の⑤の貿易統制は、ある輸入品を特定の商人に一括購入させることによって行われた。ある輸入品とは何か。次のうちから選べ。

- (1) 陶磁器 (2) 火薬 (3) 綿糸 (4) 生糸

問18 略年表中の⑥に関連して、江戸時代初期の宗教統制と直接関係のないものを、次のうちから選べ。

- (1) 謝恩使 (2) 諸社禰宜神主法度 (3) 本末制度 (4) 寺請制度

問19 略年表中の⑦の戦役の直後の出来事を、次のうちから選べ。

- (1) 武家諸法度(元和令)が出され、大名による新しい城郭の建設などが禁じられた。
- (2) 益田(天草四郎)時貞を首領とするキリスト教徒の農民らが、原城跡に立てこもった。
- (3) 末期養子の禁止が緩和され、50歳未満の大名に末期養子が認められた。
- (4) 江戸幕府の2代将軍に徳川秀忠が就任した。

問20 略年表中の⑧に関連して、次のa～cの江戸幕府の貿易統制策を年代の古い順に正しく並べたものを、あとのうちから選べ。

- a. ポルトガル船の来航を禁止した。
- b. オランダ商館を長崎の出島に移した。
- c. 日本人の海外渡航と海外移住者の帰国を全面的に禁止した。

- (1) a → b → c (2) a → c → b (3) b → a → c
- (4) b → c → a (5) c → a → b (6) c → b → a

問21 略年表中の⑨に関して、徳川綱吉についての記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 綱吉は武家諸法度(寛永令)を発し、参勤交代を義務化した。
- (2) 綱吉の政治は、大老の堀田正俊の死後、側用人の間部詮房が補佐した。
- (3) 綱吉は田畑永代売買の禁令を発し、農地の権利が移動することを禁じた。
- (4) 綱吉は儒教を重視し、林家の家塾を湯島に移して、孔子を祀った。

問22 略年表中の⑩の政治の政策として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1) 閑院宮家の創設 (2) 朝鮮通信使の待遇の簡素化
- (3) 元禄小判の鋳造 (4) 海舶互市新例(長崎新令)の発令

第3問 次のA・Bの文章を読み、あとの各問いに答えよ。

A 国会開設、憲法制定、条約改正などを求める①自由民権運動の高まりに対して、政府はこれを抑える措置をとった。その一方で、天皇を中心とする集権的な国家体制を確立し、条約の改正や資本主義化を進めるために、憲法の制定に関しても検討を加えていった。その最中の1881年に②開拓使官有物払下げ事件がおこると、世論の政府攻撃が激しくなった。追いつめられた岩倉具視や伊藤博文らは国会の早期開設を唱えていた大隈重信を政府から追放した。それと同時に、伊藤らは、開拓使官有物の払下げを中止するとともに、欽定憲法制定の基本方針を決定し、1890年に国会を開設することを約束して、主導権を握った。1882年、③伊藤博文は、憲法調査のためにヨーロッパに留学し、帰国後、憲法草案の起草に着手した。完成した憲法草案は、枢密院での審議を経て、④1889年に大日本帝国憲法として発布された。翌1890年には、⑤最初の衆議院議員総選挙が行われ、第1回帝国議会(第一議会)が開かれた。

問23 下線部①に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 政府は、民撰議院設立の建白書を掲載した『日新真事誌』を発売禁止処分にした。
- (2) 政府が漸次立憲政体樹立の詔を出すと、民権派は大阪会議を開いて対抗した。
- (3) 政府は、西南戦争の最中に提出された立志社建白に対して、保安条例で対応した。
- (4) 政府は、愛国社の呼びかけで国会期成同盟が結成されると、集会条例を制定した。

問24 下線部②に関する次の a ・ b の記述の正誤の組合せとして最も適切なものを、あとのうちから選べ。

- a . 旧薩摩藩出身の開拓長官の黒田清隆が同藩出身の政商である五代友厚らに、開拓使の官有物を不当に安く払い下げようとして問題となった。
- b . この払下げ事件への世論と関係があるとして、政府から追放された大隈重信は、事件の翌年、地主を主たる支持基盤とする立憲改進黨を結成した。

- (1) a ー 正 b ー 正 (2) a ー 正 b ー 誤
- (3) a ー 誤 b ー 正 (4) a ー 誤 b ー 誤

問25 下線部③に関して、ヨーロッパに渡った伊藤博文らにドイツ流の憲法理論を講じたベルリン大学の法学教授を、次のうちから選べ。

- (1) グナイスト (2) ロエスレル (3) ボアソナード (4) ベルツ

問26 下線部④に関する記述として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1) この憲法が発布された 2 月 11 日は紀元節の日に当たる。
- (2) この憲法の公布とともに、皇位継承などについて定めた皇室典範が制定された。
- (3) この憲法は欽定憲法であり、伊藤博文首相の時に発布された。
- (4) この憲法では、臣民の権利は法律の範囲内という限定つきで保障された。

問27 下線部⑤に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) この選挙で投票権を有したのは、直接国税を 10 円以上納める満 25 歳以上の男子であり、全人口の 1 % 強に過ぎなかった。
- (2) この選挙は、警察官立会いのもとでの記名投票であったことなどから、政府支持派の吏党が大きな勝利を収めた。
- (3) 内閣(国务大臣)は天皇に対してのみ責任を負い、帝国議会には負わなかった。
- (4) 帝国議会は衆議院と貴族院の二院制からなっており、衆議院に法律案の議決・予算の先議などの優越権があった。

B 2024 年が、開戦から 130 年目にあたる⑥日清戦争と、120 年目にあたる⑦日露戦争は、ともに日本が勝利を収めたことによって日本の国際的地位が向上したことや、戦場が国外であったことから、一緒に語られることが多い。しかし、日露戦争の際には⑧反戦論・非戦論が展開されたことや、一部とはいえ、戦争に対して、反対や「戦争ぎらひ」が公然と唱えられたことは、日清戦争との大きな違いである。こうした違いの背景としては、社会主義思想が日本に入ってきたことや、日露戦争が国民の生活に大きな影響を及ぼす国家総力戦的な性格を持っていたことなどがあげられる。

とはいえ、両戦争に勝利を収めた日本は本格的な帝国主義国となり、欧米列強の承認のもとで、⑨韓国に対する植民地化政策を進めていった。

問28 下線部⑥に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) この戦争が始まる前の第五議会・第六議会では、政党は第 1 次松方正義内閣の条約改正交渉を批判していた。
- (2) 日本軍が朝鮮でおこった壬午軍乱(壬午事変)を利用し、天津条約に基づいて朝鮮に出兵したことから、この戦争は始まった。
- (3) この戦争の勝利によって日英通商航海条約が結ばれ、治外法権(領事裁判権)が撤廃された。
- (4) この戦争の講和条約で日本が獲得した遼東半島は、三国干渉によって清国に返還された。

問29 下線部⑦に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) この戦争の前、山県有朋らは日露協商論、伊藤博文らは日英同盟論を唱えていた。
- (2) 日本海海戦に敗れたロシアは、国内の革命運動によって戦争継続が困難となった。
- (3) この戦争の講和会議がイギリスのポーツマスで開かれ、小村寿太郎が日本全権として参加した。
- (4) 日本は、この戦争の講和条約でサハリン(樺太)全島を獲得したが、賠償金が取れなかったため、日比谷焼打ち事件がおこった。

問30 下線部⑧に関する記述として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1) 堺利彦は、『万朝報』が主戦論に転ずると、退社し、非戦論を唱えた。
- (2) 内村鑑三は、平民社を創立して『平民新聞』を創刊し、非戦論を唱えた。
- (3) 与謝野晶子は、『明星』に反戦詩「君死にたまふこと勿れ」を発表した。
- (4) 大塚楠緒子は、『太陽』で厭戦的な詩「お百度詣で」を発表した。

問31 下線部⑨に関して、統監として韓国併合を進め、初代朝鮮総督となった人物を、次のうちから選べ。

- (1) 寺内正毅 (2) 伊藤博文 (3) 桂太郎 (4) 陸奥宗光

第4問 次の文章を読み、あとの各問いに答えよ。

日本占領の機関として東京に①連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）が置かれ、占領行政が始まった。形式的には、第二次世界大戦中の連合国によるものだが、実質的には、アメリカ軍人マッカーサーを中心とするアメリカによる単独占領である。その中で、第二次世界大戦中の軍国主義を排除し、②五大改革指令を中心にあらゆる側面で日本の民主化が行われることになる。

第二次世界大戦後の日本経済は、日中戦争から太平洋戦争へと長期に戦争を続けたことによって、打撃を受けていた。特に労働力不足と原材料不足を原因とした物資不足は著しく、激しいインフレに見舞われていた。そのため、③GHQと日本政府は国内経済の立て直しを図り、経済成長に不可欠な国際貿易への復帰を目指すことになった。

このように大きな転換を行い、全体的に苦しい時代を過ごす日本経済が劇的に改善するきっかけになったのは、1950年に始まった朝鮮戦争である。アメリカ軍からの軍需物資の受注によって、輸出が急増し、経済復興に大きな影響を与えたのである。いわゆる朝鮮特需で復興した日本は1960年代に④高度経済成長期を迎えることになる。

朝鮮戦争は政治でも大きな意味を持った。この戦争は、アメリカとソ連という二大超大国の争いである冷戦の一環であった。両国の勢力争いに加え、日本の社会主義化を防ぐためにも、急速に日本を西側諸国の一員として国際社会に復帰させる必要性が出たのである。そのため、日本は、第二次世界大戦の講和条約である⑤サンフランシスコ平和条約を1951年に締結し、正式に国際社会の一員として復帰することになった。同時に⑥日米安全保障条約を締結し、アメリカ軍が日本に駐留する根拠を明記することで、共産主義に対する西側諸国の防衛圏に組み込まれることになった。

米ソの冷戦は日本の国内政治にも大きな影響を与えた。国内では自由党などの保守陣営と、社会党・共産党などの革新陣営が対立する構図となっていた。こうした中で、1955年に自由民主党が結成され、⑦「55年体制」が成立した。その後、40年近くの長きに渡って⑧自由民主党の長期政権が展開された。

問32 下線部①に関する記述として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1) 東久邇宮稔彦内閣は政治犯の即時釈放、治安維持法廃止などの人権指令の実行をためらい、総辞職した。
- (2) GHQは、東京にある連合国の政策決定機関である極東委員会とワシントンにある対日理事会で構成されていた。
- (3) 極東国際軍事裁判所では、太平洋戦争開始時の首相であった東条英機を始め、国家指導者が日本を戦争に導いた戦犯として裁かれた。
- (4) GHQは言論の自由を認める一方、プレスコードを出して、占領軍に対する批判を禁じた。

問33 下線部②の内容として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1) 選挙権付与による女性の解放
- (2) 農地改革による地主制度の解体と小作農の解放
- (3) 人間宣言による天皇の神性の否定
- (4) 財閥解体による経済機構の民主化

問34 下線部③の内容として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 金融機関の預金封鎖と旧日銀券から新円への切り換えを内容とする金融緊急措置令を出し、インフレ抑制を目指した。
- (2) 国民生活の改善と物資不足を克服するため、傾斜生産方式を採用して、米・麦など食料生産に資金を投入して生産回復を図った。
- (3) ショウプ勧告を受け入れ、間接税中心主義を採用することで、安定した国内政治の運営が可能になることを目指した。
- (4) ドッジラインを受け、赤字前提の予算編成を行うと同時に、1ドル＝360円の固定相場制を導入した結果、インフレが進み、経済はさらに混乱した。

問35 下線部④に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1)「神武景気」と呼ばれる好景気を迎えた時期に、日本の国民総生産(GNP)は世界第2位となった。
- (2)岩戸景気時の首相である佐藤栄作は所得倍增計画を掲げ、その後の日本経済は、目標以上の成果をあげた。
- (3)自動車の対米輸出が急増して日本の貿易黒字が大幅に増え、日米間の貿易摩擦が深刻な政治問題となった。
- (4)日本経済は第1次石油危機で大きな打撃を受け、翌年には戦後初のマイナス成長を記録した。

問36 下線部⑤に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1)サンフランシスコ平和条約で日本は独立を承認されたが、沖縄と奄美大島はアメリカの統治下に置かれることになった。
- (2)サンフランシスコ平和条約で国際社会の一員に復帰した日本は、同時に国際連合にも加盟することになった。
- (3)中国は中華民国の代表のみが招待され、中華人民共和国の代表は招待されなかったが、中華民国の代表者は日本との講和に署名しなかった。
- (4)経済的な負担を理由に多くの国は日本に賠償請求を放棄したが、フィリピンなど戦後に独立した一部国家には賠償金を支払った。

問37 下線部⑥を受けた国内外の変化として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1)朝鮮戦争をきっかけに誕生した警察予備隊は日米安保条約を機に自衛隊と名称を変え、自衛組織として存在することになった。
- (2)日米安保条約の締結当時、日本は自国の防衛のみで、日本によるアメリカ防衛義務は明記されていなかった。
- (3)日米安保条約に反対の意を示したソ連はサンフランシスコ講和条約で決まっていた北方領土の返還を拒否した。
- (4)1960年に日米安保条約を改定した岸信介内閣は、日米のさらなる連携強化を国民が歓迎した結果、長期政権を担うことになった。

問38 下線部⑦の体制を率いた自由民主党の初代総裁を、次のうちから選べ。

- (1) 鳩山一郎 (2) 吉田茂 (3) 芦田均 (4) 石橋湛山

問39 下線部⑧における各首相に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 中曽根康弘首相は、電電公社や国鉄などの民営化を決定したが、リクルート事件により辞任に追い込まれた。
- (2) アメリカ大統領ニクソンの訪中を受け、田中角栄首相は、日中共同声明を締結し、日中国交正常化を果たした。
- (3) 池田勇人首相は、韓国の李承晩大統領と日韓基本条約を締結し、韓国を朝鮮半島唯一の合法政権と認め、多額の経済援助を行った。
- (4) 高度経済成長期最後の首相となった三木武夫首相は、農業の構造改革を行い、農業基本法を制定することで生産力向上を目指した。

